

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	呼吸用保護具の性能の確保のための買取り試験		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度開始		担当課室	労働衛生課環境改善室		亀澤 典子			
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第42条(譲渡等の制限等)、 同法第43条の2		関係する計画、 通知等	第11次労働災害防止計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	市場に流通する国家検定に合格した防じんマスク及び防毒マスク(以下「呼吸用保護具」という。)の買取り試験を実施し、呼吸用保護具の性能の確保を図ることで、労働者が有害物を吸入することによる健康障害を防止することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	型式検定に合格した呼吸用保護具のうち、市場の流通状況等を踏まえ、型式検定の有効期間5年間のうちに1回以上買取り試験が実施できるように、買取り試験対象型式を選定する。 市場に流通している呼吸用保護具について、地域等の偏りがないように、試験に必要な数の買取りを行い、呼吸用保護具の規格に沿った試験を行う。その結果が規格を具備しているか否か評価を行い、委託元に報告を行う。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算							
		繰越し等							
		計	30	30	24	22	22		
	執行額	30	30	24					
	執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> 不具合の割合を5%以下とする。(H20) 買取り型式数を82型式(過去2年の平均)以上とする。(H21) 現在市場に流通しており、本年度中に有効期間が終わる呼吸用保護具のうち、有効期間内に買取り試験を実施した型式の割合を100%とする。(H22~) 		成果実績	%又は型式	7.32%	86型式	90.38%	100%	
			達成度	%	68.3	105	90.38		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	<ul style="list-style-type: none"> 計画総数に対する買取り割合を100%とする。(H20) 評価委員会開催率を100%とする。(H21) 不具合が発見されれば評価委員会の開催は増え、少なれば開催回数も少なくなる。また、年々予算が減額されている中、買取り数を増やすことなども困難である。そのため、指標を設けていない。(H22~) 		活動実績	(当初見込み)	%	100	100	—	—
					—	—	(—)	(—)	
単位当たり コスト	31,327 (円/呼吸用保護具1個)		算出根拠	平成22年度においては、防じんマスクと防毒マスクを合わせて、合計84型式756個の呼吸用保護具の買取り試験を実施した。精算額は23,683,329円であるので、呼吸用保護具1個あたりの平均は、31,327円となる。					
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	9.3	9.3						
	庁費(サンプル購入等)	3.6	3.6						
	買取り試験実施費	7.9	7.9						
	消費税	1	1						
	計	22	22						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>・実施にあたっては、法令に基づく型式検定と同様の設備を有し、適切に試験実施できる能力のほか、関係法令や日本工業規格等の知識が必要である。さらに呼吸用保護具の市場流通状況の調査能力、買取り手法によって事業の効果・効率に大きな影響を与える。そのため、買取り試験の実施方法や評価が不適切であった場合、労働者に健康障害を生じさせる恐れがあることから、企画の提案内容によって実施者を選定すべきであり、価格の低さを持って選定すべきではない。このことから、企画競争による調達としている。</p> <p>・連続して試験を実施する等により、総試験時間数の削減に努める等なされているところ。しかし、呼吸用保護具の種類によって購入額及び試験内容が異なり、種類の偏りなく買取りを実施したとしても、不具合のある型式が発見されれば追加試験実施等のために、単位あたりコストは増減する。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	買取り試験結果は、受託者から行政に迅速に報告され、行政は、呼吸用保護具の製造者等に対して指導等を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>年々、予算額が削減されるなか、新規に型式検定を合格する呼吸用保護具もあり、長期的には有効な型式数が削減されることはない。また、今年度においては電力需給調整による停電等によって、買取り試験中に中断等の恐れがあり、結果として試験時間が長くなる等のために試験実施経費が増大することや、買取り実施型式数が例年よりも少なくなることが予想される。しかし、今後とも、呼吸用保護具の性能の確保がなされるよう、効率的な運用となるように努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		呼吸用保護具の性能の確保のための買取り試験の事業については、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
防毒マスクの単価を実績を踏まえて縮減			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

呼吸用保護具の性能の確保のための買い取り試験

厚生労働省
(24百万円(平成22年度精算額))

事業管理、受託者への指導



【企画競争入札】

(社)産業安全技術協会
(24百万円(平成22年度精算額))

呼吸用保護具の市場の流通状況の調査、買取り対象型式の選定、買取試験の実施、委託者への試験結果の報告等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.(社)産業安全技術協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	試験員への謝金	9			
物品購入費	呼吸用保護具購入費、試験装置借上げ費等	10			
その他	買取り調査旅費、管理費等	4			
消費税		1			
計		24	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人産業安全技術試験協会	呼吸用保護具の市場の流通状況の調査、買取り対象型式の選定、買取り試験の実施、委託者への試験結果の報告等	24	1	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					